

中岡慎太郎について

1、はじめに

はじめまして、新入部員の者です。

今回は「幕末」について調べるということで、坂本龍馬は有名すぎて皆さん知っていると思うので、坂本龍馬の友人の中岡慎太郎について調べることにしました。

彼は坂本龍馬が「私同様の人」と称した盟友で龍馬のように、同盟などの外交関係で活躍した人です。

2、中岡慎太郎の生涯

早速ですが、中岡慎太郎の人生について書こうと思います。

(詳しい説明は次ページ以降にあります)

中岡慎太郎の年表

1838 年	土佐にて生まれる
1854 年	武市半平太より剣を学ぶ
1861 年	土佐勤皇党に加盟
1862 年	五十人組に入る
1863 年	土佐藩を脱藩
1864 年	長州藩の遊撃隊に参加
1866 年	薩長同盟成立に貢献
1866 年	薩土同盟を成立に導く
1866 年	陸援隊結成
1867 年	時勢論を執筆
1867 年	脱藩罪を龍馬とともに許される
1867 年	京都近江屋で暗殺

中岡慎太郎は 1838 年 5 月 6 日に土佐(現在の高知)で生まれました。

武市半平太(武市端山)の道場に入門し剣術を学び、1861 年には武市が結成した土佐勤皇党に加盟して、本格的に志士活動を始めました。

1862 年に佐久間象山を訪ね、国防(外国から国を守ること)や政治改革について議論をして大いに意識を高めました。

1863 年に尊王攘夷運動への弾圧が始まると、土佐勤皇党も弾圧され、自らも危険を感じ速やかに脱藩し、9 月に長州藩に亡命しました。

1864 年、偽名の石川誠之助を使い上洛、薩摩藩の島津久光の暗殺を計画したが失敗し、脱藩した志士を率いて禁門の変や下関戦争を長州藩側で戦い負傷しました。

長州藩への冤罪や雄藩同士の有害無益な対立、志士たちの弾圧を目の当たりにして、尊王攘夷論から雄藩連合による武力討幕論に発展させました。

薩摩藩の西郷隆盛と長州藩の桂小五郎(木戸孝允)の会談による薩長の和解を画策し奔走しました。ここで、薩摩と親しい仲にあった友人の坂本龍馬と手を結び、1866 年 1 月に薩摩藩邸にて二者の会談が成立しました。そして、その場で薩長同盟が成立しました。

続いて慎太郎は薩摩と土佐の間にも同様の盟約を結ぶため、奔走しました。土佐の板垣退助と薩摩の西郷隆盛、小松帯刀の間で密約を結ばせ、土佐の後藤象二郎を交えて薩土同盟を締結させました。

雄藩連合を着々と進める一方で長州の奇兵隊を参考にした陸援隊を結成、自らが隊長を務めて坂本龍馬の海援隊と並んで武力倒幕に備えました。

また、この頃に「時勢論」と言われる自らの考えを記したものを執筆、外国からの侵略を阻止するためには単なる攘夷論でなく、富国強兵を成功させることである、と説いています。

そして 1867 年、後藤象二郎の献策によって徳川慶喜(元一橋慶喜)が大政奉還を決意しました。翌日には武力倒幕の密勅が下り、戦いが始まりました。

ですが、これは実現できず 11 月 15 日に京都近江屋の坂本龍馬のもとを訪れた際、刺客に襲われ 2 日後に死去しました。なお、死亡するまでの 2 日間は暗殺者の襲撃について谷干城などに詳細に語っています。

3、 中岡慎太郎の名言、エピソード

3-1、名言

**志とは目先の貴賤で動かされるようなものではない
今賤しいと思えるものが明日には貴いかもしれない
君子となるか小人となるかは家柄の中にはない
君自らの中にあるのだ。**

という名言を残しています。意味は、

〈家がいつまでも裕福であるとは限らない。

また、いつまでも貧しいとは限らない。

人間として立派な人になるのか、

誘惑に負けてしまう人になるのかは

その人の心掛け次第である〉。

3-2、エピソード

- ・ 姓は藤原氏、家紋は丸に綿の花である。
 - ・ 暗殺犯は「こなくそ」と言いながら襲ってきた、と話している。
 - ・ 2000年に発行された「JAPAN」という雑誌では、なぜか中岡慎太郎の像(室戸の銅像)が坂本龍馬として紹介されている。
 - ・ 笑顔の写真は当時では珍しく、そのイメージ通り普段から気さくな笑顔を絶やさず、他藩との会合の後も即座には立ち去らず「お互い大変だなあ」といって肩を叩いて労った。その人徳は厚く、「中岡は信頼に足る」と各地で言われたほどだった。
 - ・ 土佐藩では庄屋に転勤の制度があったため中岡のルーツのもとは土佐ではない
- 次は、坂本龍馬に関係する(ほとんど龍馬の)エピソードです。
- 暗殺されるときに坂本龍馬はまず額を切られ、脳を損傷した。その時龍馬は「石川!石川は居るか!大丈夫か!?!」と言った。
- 慎太郎の名字は「中岡」なのに「石川」という名字を使った。
- これは中岡のいくつかの偽名の中に「石川」があったため最後まで正体がばれないように気遣ったといわれている。

注意；室戸岬の慎太郎の像と、桂浜の龍馬の像の向きが同じと言われるが、無関係。

4、 中岡慎太郎の盟友 坂本龍馬について

龍馬は慎太郎の盟友で、同じように薩長同盟の結成などに貢献した人です。

坂本龍馬の年表

1835 年	高知城下に生まれる
1848 年	日根野弁治道場入門
1853 年	千葉定吉道場入門
1861 年	土佐勤皇党に加盟
1862 年	土佐藩脱藩
1864 年	薩摩藩庇護下におかれる
1865 年	亀山社中(海援隊)結成
1866 年	薩長同盟の成立に貢献
1867 年	船中八策を献策
1867 年	京都近江屋で暗殺(慎太郎とともに暗殺される)

薩長同盟は薩摩藩から長州藩に武器を、長州藩から薩摩藩へ兵糧米を輸送するという条件で成立しました。

船中八策とは、大政奉還についての策略をまとめたもので、1867年に龍馬が書き終えたものです。

5、 最後に

この長い文章を読んでくれてありがとうございました。

幕末の志士の**中岡慎太郎**と、慎太郎を「私同様の人」と称した**坂本龍馬**についての文章でした。

6、 参考文献

- ・ビジュアル幕末 1000 人(世界文化社)
- ・ウィキペディア 中岡慎太郎